

～お盆～

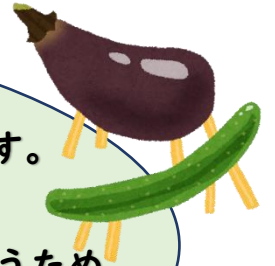
8月13日～8月16日の4日間はお盆です。お盆は、先祖や亡くなった方の霊を祀る行事のことを言います。お盆では、様々なものをお供えします。今日は、いくつか紹介したいと思います。

きゅうりとなす

爪楊枝や割りばしで4つ足がついたきゅうりとなすをお供えします。

きゅうりは「馬」、なすは「牛」を表しています。

きゅうりの馬は、足が速くあの世からご先祖様が早く戻ってきてもらうために用意します。なすの牛は、歩くのが遅いので、少しでもこの世にとどまってあの世に戻ってもらうために用意します。



おはぎ

おはぎをお供えするのには「魔除け」と「五穀豊穡」の2つの意味があります。小豆の「赤色」は昔から魔除けの力があると言われています。また、お米から作られるお餅には、穀物などの農作物が豊作になるようにという願いがこめられています。

ちなみに、、、

おはぎとぼたもちの違いはありません！

春は、春の花である牡丹からぼた餅。

秋は、秋の花である萩からおはぎ

と季節により呼び方が変わります。



そうめん

そうめんをお供えする理由は、いくつかあります。

1. ご先祖様があの世に帰る時、手綱や荷物をくくるための綱になる
2. 細くて長いそうめんにあやかり「幸福が細く長く続くように」という願いが込められている
3. 熱病に侵されないように（疫病の予防を願う）
4. 糸に見立てられたので、針仕事が上達するように

